

瀬戸内海の環境の保全に関する香川県計画 令和3年度点検結果

1. 趣旨

平成28年度に策定した瀬戸内海の環境の保全に関する香川県計画について、持続的改善を図るために県計画に掲げる指標に基づき進捗状況を点検した。

2. 進捗状況の評価方法

評価にあたっては、各指標の位置づけも鑑みつつ、5年間の大まかな傾向を踏まえて、「○」、「△」、その他「－」の3種類で評価した。

評価基準	評価判定
進捗が見られた	○
さらなる取組が必要又は維持することが適当なもの	△
その他	－

3. 結果の概要（詳細は別紙参照）

全57指標のうち、「○」が9、「△」が39、「－」が9であった。

分野別の状況は以下のとおりである。

・里海づくりの推進に関する指標（全3指標）

評価	指標
○（0）	
△（3）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ふれあいの頻度（年に1回以上海に行った人の割合など） ➢かがわ里海大学修了者数 ➢環境教育・環境学習参加者数
－（0）	

・美しい海（1）水質の保全及び管理に関する指標（全12指標）

評価	指標
○（1）	➢家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律への対応状況
△（11）	<ul style="list-style-type: none"> ➢水質汚濁に係る環境基準達成状況 ➢汚濁負荷量（化学的酸素要求量（COD）、窒素、りん） ➢汚水処理人口普及率 ➢環境技術実証事業実施件数 ➢エコファーマー認定件数（累積） ➢PRTRに基づく公共用水域への届出排出量 ➢海水浴場の数 ➢海水浴場の利用者数 ➢海水浴場の水質判定基準の達成状況 ➢水生生物及び海ごみ調査参加者数 ➢耕作放棄地解消面積

－ (0)	
-------	--

・美しい海（２）自然景観及び文化的景観の保全に関する指標（全 20 指標）

評価	指標
○ (6)	▶ 県立自然公園利用者数 ▶ 保安林指定面積 ▶ 県民がふれあうことのできるみどりの面積 ▶ 史跡、名勝、天然記念物等の国指定件数 ▶ 森林整備面積（累計） ▶ 放置竹林対策実施面積
△ (14)	▶ 国立公園面積 ▶ 国立公園利用者数 ▶ 県立自然公園面積 ▶ 景観法に基づく景観計画の策定自治体数 ▶ 森林面積 ▶ 林地開発許可処分件数 ▶ 重要伝統的建造物群保存地区選定件数 ▶ 重要文化的景観選定数 ▶ 都市計画法に基づく風致地区数 ▶ 都市緑地法に基づく特別緑地保全地区指定面積 ▶ 県内一斉海ごみクリーン作戦参加者数 ▶ 海底ごみ回収活動実施箇所数 ▶ 海底堆積ごみ回収量 ▶ 海岸漂着物回収量
－ (0)	

・生物が多様な海（１）沿岸域の環境の保全、再生及び創出等に関する指標（全 10 指標）

評価	指標
○ (0)	
△ (5)	▶ 自然再生推進法に基づく取組み箇所数 ▶ 自然海浜保全地区数 ▶ 鳥獣保護区の数 ▶ 生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略の策定自治体数 ▶ 藻場造成面積（累計）
－ (5)	▶ 藻場面積、干潟面積、塩性湿地面積 ▶ 砂浜延長 ▶ 渡り鳥飛来数 ▶ 底生生物の出現種数 ▶ 底生生物の個体数

・生物が多様な海（２）水産資源の持続的な利用の確保に関する指標（全９指標）

評価	指標
○（２）	➤漁場改善計画数 ➤海砂利採取量
△（５）	➤保護水面指定数 ➤漁場改善計画策定漁協の養殖生産量シェア ➤水産資源保護培養海域数 ➤海底ごみ回収活動実施箇所数 ➤藻場造成面積（累計）
－（２）	➤漁業生産量 ➤クロロフィル a

・交流と賑わいのある海（１）自然景観及び文化的景観の保全に関する指標（全３指標）

評価	指標
○（０）	
△（１）	➤ふれあいの頻度（年に１回以上海に行った人の割合など）
－（２）	➤エコツーリズム推進アドバイザー派遣回数 ➤エコツーリズム地域活性化支援交付金の活用団体数

香川県計画の各指標進捗状況

香川県計画の区分			H28	H29	H30	R1	R2	単位	評価	備考	
大項目	小項目	指標									
里の海 海づくり 進め	-	・かがわ里海大学修了者数	346	485	546	558	373	人	△		
		・ふれあいの頻度(年に1回以上上海に行った人の割合など)	-	-	-	-	41.1	%	△	年に数回以上の割合 H25年度調査時は37%	
		・環境教育・環境学習参加者数	24,810	24,965	24,338	24,718	13,744	人	△	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた環境教育・環境学習の出前講座や体験学習会等の開催中止、又は参加人数制限を行ったため、実績値が大きく減少。	
美しい海	(1) 水質の保全及び管理	・水質汚濁に係る環境基準達成状況	68.6 28.6 100 100	65.7 42.9 100 100	77.1 28.6 100 100	74.3 42.9 100 100	62.9 42.9 100 75.0	達成水域数%	△	河川BOD(35水域) 海域COD(7水域) 海域全窒素(4水域) 海域全燐(4水域)	
		・汚濁負荷量(化学的酸素要求量(COD)、窒素、りん)	COD:23 T-N:28 T-P:1.6	COD:23 T-N:28 T-P:1.6	COD:23 T-N:27 T-P:1.6	COD:22 T-N:27 T-P:1.6	COD:22 T-N:26 T-P:1.5	トン/日	△	発生負荷量等算定調査から引用	
		・汚水処理人口普及率	75.3	76.6	77.7	78.8	79.6	人口%	△	生活排水処理施設(下水道、農業・漁業集落排水施設、合併処理浄化槽、コミュニティプラント)の整備率	
		・環境技術実証事業実施件数	0	0	0	0	0	件	△	環境省採択事業	
		・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律への対応状況	100	100	100	100	100	%	○	管理基準(たい肥舎その他の家畜排せつ物の処理又は保管の用に供する施設の構造設備及び家畜排せつ物の管理の方法に関し畜産業を営む者が遵守すべき基準:法第3条第1項)の遵守状況	
		・エコファーマー認定件数(累積)	12	26	31	35	38	件	△		
		・耕作放棄地解消面積	2,381	2,574	2,674	2,076	2,126	ha	△	農業振興地域内の耕作放棄地面積を記載(「解消」した土地とは別に放棄地となる土地も存在するため) 平成30年から令和元年度における耕作放棄地面積の減少の大部分は農業振興地域見直しに伴う農用地区域の除外による対象農地面積の減少による。	
		・PRTRに基づく公共用水域への届出排出量	39	49	45	50	-	トン	△	R2年度確定値はR4年3月頃に経済産業省・環境省から公表されます。	
		・海水浴場の数	12	12	12	12	10	箇所	△	県内の5保健所が水質調査を実施している海水浴場の数 R2は新型コロナウイルスの影響で2か所実施しなかったため10か所。	
		・海水浴場の利用者数	18	18	18	-	-	万人	△	環境省「水浴場(開設前)水質調査結果」 R1及びR2は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して非公表	
		・海水浴場の水質判定基準の達成状況	100	100	100	100	100	%	△	水質調査実施箇所のうち環境省が定める水浴場水質判定基準で遊泳可能となった海水浴場の割合	
		・水生生物及び海ごみ調査参加者数	875	893	924	755	565	人	△		
		(2) 自然景観及び文化的景観の保全	・国立公園面積	18,171	18,171	18,171	18,171	18,171	ha	△	瀬戸内海国立公園 (香川県地域)
			・国立公園利用者数	4,482	4,610	4,211	4,630	-	千人	△	瀬戸内海国立公園 (香川県地域)
			・県立自然公園面積	2,363	2,363	2,363	2,363	2,363	ha	△	
			・県立自然公園利用者数	9,965	11,816	15,798	14,814	17,948	人	○	県民いこいの森野営場と大川山野営場の利用者数の合計人数 指定区域の適正な保全や、野営場等利用施設の整備などにより、利用者数は着実に増加。
			・景観法に基づく景観計画の策定自治体数	5	6	6	6	6	市町	△	高松市、丸亀市、善通寺市、宇多津町、琴平町、土庄町 (県内の策定割合35%、全国と同程度の水準)
			・森林面積	79,004	78,979	79,114	79,170	79,229	ha	△	地域森林計画対象民有林面積 平成28年度からの5年間で当該森林面積は225ha増加。
			・森林整備面積(累計)	865	1,750	2,638	3,653	4,536	ha	○	香川県みどりの基本計画(H28~R2の累計で5,000ha)もおおむね達成している。
・保安林指定面積	38.0		56.7	28.9	2.3	13.2	ha	○	年度毎の指定面積には増減があるが、保安林面積は着実に増加。		
・林地開発許可処分件数	25		33	11	25	40	件	△			
・県民がふれあうことのできるみどりの面積	1,902 (H27)		1,939 (H28)	1,936 (H29)	1,951 (H30)	1,950 (R1)	ha	○	他計画で設定した当該指標の目標値(1,920ha)を達成している。		
・重要伝統的建造物群保存地区選定件数	1		1	1	1	1	件	△			
・史跡、名勝、天然記念物等の国指定件数	38		38	39	41	43	件	○	これまでの県内の市町による調査が実を結び、指定件数が増加している。文化的な景観地の保全が文化財指定により進捗している。		
・重要文化的景観選定数	0		0	0	0	0	件	△			
・都市計画法に基づく風致地区数	12		12	12	12	12	地区	△			
・都市緑地法に基づく特別緑地保全地区指定面積	0		0	0	0	0	ha	△	現時点において、特別緑地保全地区を都市計画に定める予定の市町はなし。		
・県内一斉海ごみクリーン作戦参加者数	47		57	60	49	37	千人	△	さぬ☆キラ参加者数		
・海底ごみ回収活動実施箇所数	24		23	25	27	27	箇所	△			
・海底堆積ごみ回収量	40		34	39	45	31	t	△			
・海岸漂着物回収量	380		381	604	545	274	t	△			
・放置竹林対策実施面積	12.4	25.7	39.7	62.9	88.3	ha	○	香川県みどりの基本計画(H28~R2の累計で100ha)もおおむね達成している。			

香川県計画の区分			H28	H29	H30	R1	R2	単位	評価	備考
大項目	小項目	指標								
生物が多様な海	(1) 沿岸域の環境の保全、再生及び創出等	・藻場面積、干潟面積、塩性湿地面積	-	藻場:1166 干潟:504	-	-	-	ha	-	(環境省)瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査(調査期間:平成27~29年度、平成29年6月報告より)
		・砂浜延長	-	-	-	-	-	km	-	期間内で調査を実施していない (参考)172.9km 第5回自然環境保全基礎調査海辺調査データ編1998年3月環境庁自然保護局 自然海岸、半自然海岸の砂浜延長の合算値(潜堤等ありも含む)
		・渡り鳥飛来数	3,487	3,652	3,650	5,475	2,694	羽	-	全国ガンカモ一斉調査 (沿岸部の調査地50地点の合計。留鳥を除く。) 飛来数は地球規模の気候や国外の繁殖地の天候などさまざまな要因に左右され、単年度の調査結果は大きく増減。
		・底生生物の出現種数	-	22	-	-	-	種	-	環境省「瀬戸内海環境情報基本調査」(平成27年~29年)から香川県海域平均値
		・底生生物の個体数	-	145	-	-	-	個体	-	環境省「瀬戸内海環境情報基本調査」(平成27年~29年)から香川県海域平均値
		・自然再生推進法に基づく取組み箇所数	0	0	0	0	0	箇所	△	
		・自然海浜保全地区数	23	23	23	23	23	箇所	△	
		・鳥獣保護区の数	26	26	26	26	26	箇所	△	
		・生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略の策定自治体数	0	0	0	0	0	市町	△	市町における「生物多様性地域戦略」の策定はないが、県は、環境基本計画を「生物多様性地域戦略」として位置づけ、生物多様性の保全に向けた取組みを推進。
	・藻場造成面積(累計)	121	122	122	123	124	ha	△	・水産課調べ(年度) 藻場造成事業は水深5~8mの浅海域かつ漁業操業に支障のない場所で実施しているため、造成適地が限定される。	
	(2) 水産資源の持続的な利用の確保	・漁業生産量	18.2	16.4	18.9	15.9	12.1	千トン	-	・農林水産省「海面漁業生産統計調査」(暦年) 栽培漁業と資源管理の連携により、持続的な利用の確保に努めているものの、環境の影響を大きく受けるため、評価は困難。
		・クロロフィルa	2.20	2.73	2.72	2.25	2.30	µg/L	-	・水産試験場が毎月上旬に香川県海域25定点で実施している浅海定線調査結果(表層)から年平均値を算出(暦年)。 ・蛍光法により測定(90%アセトン抽出)。
		・保護水面指定数	3	3	3	3	3	海域	△	①観音寺市伊吹町西部海域 ②三豊市詫間町粟島北部海域 ③坂出市王越町乃生北部海域
		・漁場改善計画数	11	11	11	14	14	漁協・団体数	○	・水産課調べ
		・漁場改善計画策定漁協の養殖生産量シェア	96	94	95	97	95	%	△	・水産課調べ 漁場改善計画策定漁協の養殖生産量シェアは高く推移。
		・水産資源保護培養海域数	2	2	2	2	2	海域	△	①観音寺市伊吹町股島東部海域 ②香川県直島町向島西部海域
		・海砂利採取量	0	0	0	0	0	m³	○	計画通り海砂利の採取禁止措置を堅持。
		・海底ごみ回収活動実施箇所数(再掲)	24	23	25	27	27	箇所	△	
		・藻場造成面積(再掲)	121	122	122	123	124	ha	△	・水産課調べ(年度) 藻場造成事業は水深5~8mの浅海域かつ漁業操業に支障のない場所で実施しているため、造成適地が限定される。
交流ある賑わい	景観(1)のび自然保全化	・エコツーリズム推進アドバイザー派遣回数	0	/	/	/	/	回	-	環境省H23~H28の事業
		・エコツーリズム地域活性化支援交付金の活用団体数	0	0	0	0	0	団体数	-	
		・ふれあいの頻度(年に1回以上海に行った人の割合など)(再掲)	-	-	-	-	41.1	%	△	年に数回以上の割合 H25年度調査時は37%